

# 留置場に手作り弁当

## 武雄の障害者施設提供



施設で弁当を作る通所者ら

### 県産食材で季節の品も

逮捕された容疑者に留置場で提供される弁当「官弁」。武雄市の障害者就労支援施設「ゆめランチ」は5年前から官弁を作り、武雄署に届けている。同施設は「手作り弁当を通じて社会に貢献したい」と話している。(岡本昌子)

ゆめランチは2009年、同市の社会福祉法人「ゆずり葉」(梶川ゆりの理事長)が設立。現在は様々な障害を抱える男女約50人が通い、手作り弁当の販売や配達を行っている。バラ

ンスの取れたメニューで県の健康づくり協力店に認定され、昼時には施設の売り場にサラリーマンらが列をつくる人気ぶりだ。

施設によると、官弁には留置場ならではの制約がある。凶器として使用されたり、わざとのみ込んだりする可能性があると、串や、料理を仕切るプラスチックなどの使用は禁止されている。

ただ、限られた範囲で食事を楽しんでもらおうと、米や野菜は県内産にこだわりの、口内のけがを防ぐため、魚の骨やエビのしっぽまで丁寧に取り除く。「四季も感じてもらえれば」と春は桜餅、正月は数の子や黒豆など、季節に合わせた品も添える。官弁の提供は13年の障害者優先調達推進法施行に伴い、県から依頼されて始め

た。ゆめランチは14年4月以降、毎日、朝昼夕の決められた時間に届けている。関係者の間でも「おいしい」と評判は上々で、梶川理事長は「障害を抱えていても社会貢献を実感できる仕事。続けていきたい」と話す。ゆめランチで一般客に販売しているのは午前11時〜午後1時。日替わり弁当(税込み400円)などがあり、ご飯の大盛りは無料。施設(095-0)へ。

### 佐賀市長ら水防施設巡視

#### 梅雨前に水害時対応確認



水防施設を点検する秀島市長(左)ら

梅雨や台風のシーズン、佐賀市や消防、警察当者ら約60人が8日の水防施設を巡視し、応を確認した。6月上旬に運用開始の雨水ポンプ場(佐賀の浸水被害を軽減するゲートを開いた水を吸い上げたりして、プールの水量を約力があるという。視察した秀島敏の排水能力を備えている。市民には合はどうか』とを忘れずに持つて話をしていた。

# 祖父の背中追い大空へ

## 令和元年 ルーキーズ ⑥

い頃から変わらないヒーローだ。大阪府吹田市出身。生まれた時は長主スズキです。

けるのが任務だったが、「いつか自分も特技に行くことになるだろう」と考えている。競走する乗鞍航空(後)

辰生さんから「視力を守るために夜は星を見る」と言われた。小学4年の時には2人で航空大学校を見学。「同じパイロットになってほしいんだろうな」と子ども心に察していた。

入校から2か月余り。キャンプで飛行機の構造や英語を学んでいる。格納庫で川東艦(ついで)教育か

ることも検の予定地? 工期が延びとから、4日焼却施設のを確認した設について内での適可也受ま、